

太政大臣 三條實美殿

31 海外留学生帰朝の儀上申

〔明治十三年十二月〕

別記

東京府士族鳩山喜久四男

法律学士

法律高等学士 鳩山和夫

民法博士

廿四年四ヶ月

(注記1)
官学第六百九十五号

(谷森)

(田中)(注記2)

海外留学生帰朝之儀上申

(注記4)(注記3)

明治八年七月欧米国へ派遣候貸費留學生拾名之内別記拾名今般帰朝致候外名ハ不幸病ニ罹リ曩キニ卒業ノ期ニ先チ罷帰候ニ付八年派遣ノ留學生ハ悉皆帰着候儀ニ有之候右拾名ハ留学期年即五ヶ年間別記之通各志ス処ノ専門学科ヲ励精研究シ彼大学ニ於テ学位ヲ受領シ且実地ニ就テ其業ヲ驗習完成セシモノニ有之候抑海外留學生之儀ハ曩キニ其弊ヲ察シ其制ヲ革メンカ為メ一旦全廢之事ヲ稟申シ明治六年中遂ニ当省管理之留學生ハ一時ニ官費ヲ止メラレ以還一年有奇其派遣ヲ中止シ八年ニ至リ更ニ貸費留學生規則ヲ定メ乃チ今回帰朝之数名ハ該改正規則ニ拠リ始テ旧東京開成学校生徒中ヨリ選抜派遣セシモノニシテ皆能ク觀ルニ足ルベキ成績ヲ呈シ彼地ニ在テモ外人ノ賞讃ヲ得候儀ニ有之是素ヨリ本人等ノ刻苦勉勵ニ因ル儀ニハ候得共新留學生規則ノ其正当ヲ失セサル事ト存候由是觀之此数名ニ次テ漸次派遣シ逐年帰朝スベキ留學生ノ如キモ亦予メ其成績ヲト知シ得ベキ儀ト存候別記相添此段上申候也

(注記5)

右明治八年八月ヨリ同十三年八月迄亜米利加合衆国ニ留學其間左記ノ学科目ヲ修了シ新約克州可倫比大学校ニ於テ法律学士ノ学位ヲ受ケ千尼底州葉爾大学校ニ於テ法律高等学士并ニ民法博士ノ学位ヲ受ケ

修学科目

- 一 法律原論
- 一 結契法
- 一 衡平法
- 一 海上海法
- 一 証拠法
- 一 英國憲法
- 一 政治学
- 一 法理
- 一 羅馬法律
- 一 仏国商法
- 一 刑法
- 一 私犯法
- 一 会社法
- 一 訴訟法
- 一 專売法
- 一 米國憲法
- 一 會議法
- 一 諸国有地法
- 一 仏国民法
- 一 仏国治罪法
- 一 賣買法
- 一 保險法
- 一 不動産法
- 一 合衆国裁判所訴訟法
- 一 經濟学
- 一 米國憲法史
- 一 万国私法
- 一 万国比較法
- 一 仏国刑法

明治十三年十二月十七日

文部卿 河野敏謙 印

石川県士族

法律学士 齋藤修一郎

廿五年一ヶ月

右明治八年八月ヨリ同十三年八月迄亜米利加合衆国ニ留学其間
左記ノ学科目ヲ修了シ馬洩朱些斯州波士敦大学校ニ於テ法律学
士ノ学位ヲ受ク

修学科目

- 一 刑法
- 一 代理法
- 一 保険法
- 一 会社法
- 一 裁判医学
- 一 証拠法
- 一 遺囑法
- 右ノ外法師ニ就テ代言ノ方法ヲ学習ス

岩手県士族

法律学士

菊地武夫

廿六年二ヶ月

右明治八年八月ヨリ同十三年八月迄亜米利加合衆国ニ留学其間
左記ノ学科目ヲ修了シ馬洩朱些斯州波士敦大学校ニ於テ法律学
士ノ学位ヲ受ク

修学科目

- 一 刑法
- 一 結約法
- 一 治罪法
- 一 賣買法
- 一 私犯法
- 一 代理法

一 組合法

一 保險法

一 破産処分法

一 質入法

一 訴訟法

一 裁判医学

右ノ外馬洩朱些斯州終審院ニ出入シ法庭ノ状況ヲ觀察シ且法
師ニ就テ代言ノ方法ヲ学習シ又羅馬法律万国交際法史法論
独逸語等ヲ研修ス

鹿兒島県士族小村寛長男

法律学士

小村壽太郎

廿五年二ヶ月

右明治八年八月ヨリ同十三年八月迄亜米利加合衆国ニ留学其間
左記ノ学科目ヲ修了シ馬洩朱些斯州哈爾巴爾大学校ニ於テ法律学
士ノ学位ヲ受ク

修学科目

- 一 刑法
- 一 結約法
- 一 衡平法及衡平裁判訴訟法
- 一 質入法
- 一 組合法
- 一 遺囑法
- 一 海上法
- 一 治罪法
- 一 訴訟法
- 一 私犯法
- 一 不動産法
- 一 証拠法
- 一 代理法
- 一 羅馬法律
- 一 銀行法
- 一 為替法
- 一 財產依託法
- 一 会社法
- 一 動産法
- 一新約克州訴訟法

一海上及火災保險法
一法理
一万国公法

右ノ外時々法庭ニ出入シテ其狀況ヲ觀察シ且実地ニ就テ代言
ヲ学習ス

東京府士族

採鉱工士 長谷川芳之助

理学博士 廿四年六ヶ月

右明治八年八月ヨリ同十三年八月迄亜米利加合衆国ニ留学其間
左記ノ学科目ヲ修了シ新約克州可倫比大学校ニ於テ採鉱工士及
理学博士ノ学位ヲ受ク

修学科目

一幾何学	一代数数学	一三角法
一測度法	一代数幾何	一微分積分
一図法計算法	一截材法	一物理学
一重学	一機械学	一土木学
一採鉱学	一測量学	一理論化学
一分析化学	一化学上計算法	
一試金術	一冶金学	一結晶学
一金石学	一吹管試験術	一植物学
一動物学	一地質学	一古生物学
一自在画学	一器械図学	一法蘭斯語及独逸語

右ノ外新約克州ポルトヘンリー鍊鉱山及ペンシルバニヤ州フ
イニクス製鍊所ニ至リ実地其業ヲ研究シ其他諸州ノ鉱坑及冶

金場ヲ巡視シ煤炭採取及製鍊ノ業ヲ実験調査ス

東京府士族南部廣才次男
採鉱工士 南部球吾
廿五年

右明治八年八月ヨリ同十三年八月迄亜米利加合衆国ニ留学其間
左記ノ学科目ヲ修了シ新約克州可倫比大学校ニ於テ採鉱工士ノ
学位ヲ受ク

修学科目

一幾何学	一代数数学	一三角法
一測度法	一代数幾何	一微分積分
一図法計算法	一截材法	一試金術
一重学	一機械学	一物理学
一土木学	一採鉱学	一測量学
一理論化学	一分析化学	一化学上計算法
一冶金学	一結晶学	一金石学
一吹管試験術	一植物学	一動物学
一地質学	一古生物学	一自在画学
一器械図学	一法蘭斯語独逸語	

右ノ外ペンシルバニヤ州ドリフトン鉱山ニ至テ石炭採鉱法ヲ
実地ニ研究シ又同府近傍ノ製鍊所ニ入り其職工トナリテ製鍊
法及高炉建築法ヲ実地ニ研修シ又煤炭坑及製銅所ニ至テ其業
ヲ実験調査ス

岐阜県士族

理学士 松井直吉
 理学博士 廿三年四ヶ月

右明治八年八月ヨリ同十三年八月迄亜米利加合衆国ニ留学其間
 左記ノ学科目ヲ修了シ新約克州可倫比大学校ニ於テ理学士并理
 学博士ノ学位ヲ受ク

修学科目

- 一代数学 一幾可学 一物理学
 - 一普通化学 一応用化学 一定質分析
 - 一定量分析 一化学上計算法 一冶金学
 - 一試金術 一結晶学 一金石学
 - 一吹管試験術 一植物学 一動物学
 - 一地質学 一自在画学 一器械図学
 - 一法蘭斯語及独逸語
- 右ノ外各種ノ物品ヲ分析試験シ殊ニ明治十一年一月ヨリ同十
 三年六月迄日本肥前有田ノ陶土等十六品ノ金石学及化学上ノ
 試験ニ従事ス其理学博士ノ学位ヲ受ケタルハ該試験ノ賞ナリ
 トス

長崎県士族

土木工士 原口 要

廿六年十一月

右明治八年八月ヨリ同十三年八月迄亜米利加合衆国ニ留学其間
 左記ノ学科目ヲ修了シ新約克州德類府連斯勤爾工学校ニ於テ土

木工士ノ学位ヲ受ク

一契約法 一測量学 一渠溝開作法
 一道路及鉄道築造法 一橋梁築造法

一地理図学 一高等数学 一天文学
 一論理及応用地質学 一化学 一物理学
 一金石学 一冶金学 一図画学
 一論理及応用重学 一水力学
 一水車論 一堤防築造法 一植物学

一物理学 一汽機学 一海陸汽機製造法及仕用法
 右ノ外各所ニ於テ現ニ着手セル土木工業及機械工作及既成築
 造ノ結構等ヲ実験調査シ又新約克府テラウエー橋梁会社ノ技
 手トナリテ橋梁ノ計画製図ニ従事シ同社ノ依嘱ニ因リテベン
 シルベニア州アセンズ製鉄所ニ至リ自己ノ計画ニ拠リテ鉄橋
 三架ヲ築造セシメ親シク其工ヲ監視シ又ピツバルク府汽車製
 造所ニ至テ鉄橋三架ヲ築造セシメ該工場技長ノ依嘱ニ応テ自
 ラ職工等ヲ指揮シテ其築造ヲ監督シ其後又ペンシルバニア鉄
 道会社ノ技術部ニ入りウエストチエトル鉄道新築ノ事アル
 ニ会シ其技術部長ノ任ヲ囑セラレテ其築造ニ従事ス

石川県士族平井金弟

土木工士 平井晴二郎

廿三年十月

右明治八年八月ヨリ同十三年八月迄亜米利加合衆国ニ留学其間
 左記ノ学科目ヲ修了シ新約克州德類府連斯勤爾工学校ニ於テ土

木工士ノ学位ヲ受ク

修学科目

- 一 契約法
- 一 道路築造法
- 一 重学
- 一 機械学
- 一 化学
- 一 冶金学
- 一 天文学
- 一 建築法
- 一 博物学
- 一 数学
- 一 測地術
- 一 物理学
- 一 截材法
- 一 地理図学
- 一 画法幾何

右ノ外各所ニ於テ現ニ着手セル土木工業及機械工作及既成築造ノ結構等ヲ実験調査シ又ミツシツシツピー河測量課ノ技手トナリテ該河水岸水底ノ転変及流水流泥ノ多少ヲ測量シ其他実地ニ就テ堤防橋梁鉄道墜道等ノ築造法ヲ学習ス

兵庫県士族

土木学 技術及製造工士
 専修 古市公威
 数理学士

廿六年十一月

右明治八年九月ヨリ同十三年九月迄法蘭西国ニ留学其間左記ノ学科目ヲ修了シ巴里府中央工芸学校ニ於テ^{土木学}技術及製造工士ノ学位ヲ受ケ又巴里大学校ニ於テ数理学士ノ学位ヲ受ク

修学科目

- 一 微分積分
- 一 応用重学
- 一 物理学
- 一 分析化学
- 一 動学
- 一 画法幾何
- 一 百工物理学
- 一 百工化学
- 一 純正重学
- 一 截材法
- 一 化学
- 一 金石学

- 一 地質学
- 一 建築学
- 一 製造学
- 一 応用動物学
- 一 鉄道築造法
- 一 鉱山学
- 一 物質強弱学
- 一 冶金学
- 一 応用植物学
- 一 農工経済
- 一 工業律
- 一 汽機学
- 一 生物学
- 一 土木学

(注記6) 明治十三年十二月廿二日
 (注記7) 大臣 花押 花押

文部省上申八年派遣海外留学生悉皆帰朝之件
 右回覽ニ供ス

参議

花押 (天木) (寺島) (川村) (山田)
 (井上) (山根) (西郷) (吉田)

明治十三年十二月廿一日

掛参議 (西郷) 内務部書記官 (伊東) (大森)
 別紙文部省上申海外留学生帰朝之儀供高覽候也

(注記1)

「内務部第六百八十一号ノ十二月十八日ノ内務部受付印」

(注記2)

〔門合〕

(注記3)

〔内務部〕

(注記4)

〔抹消〕

(注記5)

〔三十五〕(簿冊内件名番号)

(注記6)

〔文乙九八号〕

(注記7)

〔済〕

〔明治十三年自九月至十二月
公文録 文部省之部 全
2A, 10, ②2665〕